

APPLICATION GUIDE FOR INTERNATIONAL STUDENTS

外国人留学生 募集要項 | 2023

Fashion Creation Department

Fashion Technology Department

Fashion Marketing and Distribution Department

Fashion Accessories and Textiles Department

Contents

| | ページ数 |
|--|-----------|
| 1. 募集学科／2. 出願資格 | 01 |
| 3. 出願から入学までの流れ | 02 |
| 4. 出願方法、試験日程、受験料など | 03 |
| 5. 出願書類 | 04 |
| 6. 新入学各科学費他一覧表(2023年度) | 05 |
| 7. 奨学金案内 | 06 |
| 8. 在留資格について／9. 就学期間中の注意事項 | 07 |
| 10. 「専門士」および就労ビザに関する注意事項／11. お問い合わせ ... | 08 |
| 所在地 | 09 |

1 募集学科（新入学科のみ）

| 課程 | 学科名 | 修業年限 | 備考 |
|------------------|----------------|------|--|
| 服飾 専門課程 | 服装科 | 2 | |
| | 服飾研究科 | 1 | 大学・短大卒業（見込み）者およびそれに準ずると本学が認める者のみ対象。 不明な点がある場合は、事前にお問い合わせください。 |
| ファッション 工科専門課程 | ファッション高度専門士科 | 4 | |
| | ファッション工科基礎科 | 3 | 2年次からはアパレルデザイン科、アパレル技術科、インダストリアルマーチャンダイジング科、ニットデザイン科へ進級します。 ファッション工科基礎科修了時に成績および本人の希望を以て決定します。 3年次からは、アパレルデザイン科の中にメンズデザインコース、アパレル技術科の中に生産システムコースを設けています。 |
| ファッション 流通専門課程 | ファッション流通高度専門士科 | 4 | |
| | ファッション流通科 | 2 | 2年次からは、スタイリストコース、ショップスタイリストコース、リテールプランニングコース、ファッションプロモーションコース、ファッションモデルコース、ファッションメイクアップコースへ進級します。ファッション流通科1年修了時に成績および本人の希望を以て決定します。 |
| ファッション 工芸専門課程 | ファッションテキスタイル科 | 3 | |
| | 帽子デザイン科 | 2 | |
| | ジュエリーデザイン科 | 2 | |
| | バッグデザイン科 | 2 | |
| | シューズデザイン科 | 2 | |

2 出願資格

- (1) 在留資格「留学」を有する方または取得できる見込みの方。「留学」の在留資格取得見込みで出願した方は、入学手続後、すみやかに「留学」の在留資格に切り替えてください。
- (2) 日本国以外の国籍を持つ方。
- (3) ①正規の学校教育における12年目の課程を修了した方および2023年3月31日までに修了見込みの方。
②①に準ずる方で、文部科学大臣により大学入学資格が認められている方。
*②に該当するかどうかは出願前に問い合わせてください。
- (4) 法務大臣が告示で定める日本語教育機関での学習歴がある場合、出席率が80%以上*ある方。
*出席時間数の出席率が80%以上であること。
*短期滞在、特定活動の在留資格で就学した期間の出席率は含めない。
- (5) 授業を理解するだけの日本語力があり、2023年3月31日までに下記①～⑤のいずれかを満たす方。
ただし、「留学」の在留資格で日本に滞在していない場合は、出願時点で下記①～⑤のいずれかを満たしていることが必要です。
 - ①財団法人日本国際教育支援協会および国際交流基金が実施する「日本語能力試験」(JLPT)のN2もしくは2級以上に合格している方。
 - ②2021年4月以降に、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(EJU) (日本語科目)で200点以上を取得している方。
 - ③財団法人日本漢字能力検定協会が実施する「BJTビジネス日本語能力テスト」で400点以上を取得している方。
 - ④法務大臣が告示で定める日本語教育機関で6ヶ月以上*の日本語教育を受けた方。
*短期滞在、特定活動の在留資格で就学した期間は含めない。
 - ⑤学校教育法第1条*に定める学校において1年以上教育を受けた方。
*日本の小学校、中学校、高等学校、大学および短大(大学・短大の日本語別科含む)のことを指し、幼稚園は除きます。
- (6) 在学中の学費、生活費等の費用が用意できる方。

3 | 出願から入学までの流れ

出 願

直接、出願書類を文化服装学院 学務部学生課へ提出。
受験料33,000円を支払い、当日に受験票を発行します。
出願書類に不備がある場合は受付できません。

試 験

(1) 日本語試験 筆記+作文(400字程度) 70分、聴解 20分
(2) 面接
* 日本語能力試験N2程度

合否発表

合否の結果は、合否通知発送日に速達で通知します。
電話や訪問などによる問い合わせには応じられません。

学費納入

学費を納入することにより、入学手続きが完了します。
合格通知書の指定期日までに、所定の銀行振込用紙を用いて納入してください。
ATMを使用するの学費振込は確認ができない場合があるので、必ず所定の銀行振込用紙を使用し、銀行の窓口で手続きをしてください。
振込銀行の収納印をもって領収書に代え、改めて本学院から領収書は発行しませんので、大切に保管してください。

入学手続き

入学手続き

第1期合格者は2023年1月上旬
第2期合格者は2023年1月中旬
第3期合格者は2023年2月下旬に入学許可証を郵送します。
2023年2月末～3月上旬に「入学式のご案内」を郵送します。

入 学

入学式 2023年4月6日(木)
始業式 2023年4月7日(金)

4 | 出願方法、試験日程、受験料など

受験料：33,000円

出願場所：直接、文化服装学院 学務部学生課へ提出

* 郵送受付不可。

受付時間：10：00～12：00

13：30～17：00

* 土日祝日は受付できません。

| | 願書受付期間 | 試験日程 | 合否通知発送日 | 学費納入期限 |
|-----|------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 第1期 | 2022年 10月3日(月)～10月14日(金) | 2022年 11月12日(土) | 2022年 11月21日(月) | 2022年 12月12日(月) |
| 第2期 | 2022年 11月14日(月)～11月25日(金) | 2022年 12月3日(土) | 2022年 12月12日(月) | 2023年 1月13日(金) |
| 第3期 | 2023年 1月10日(火)～1月17日(火) | 2023年 1月28日(土) | 2023年 2月6日(月) | 2023年 2月24日(金) |

* その年の10月期より日本語学校に入学した方は第1期出願不可。(出席率の算出が出来ないため。)

* 第3期に出願する場合は、在留資格取得の関係から、原則、「留学」の在留資格で日本国内に在住している方に限ります。その他の在留資格の方は、10月上旬までに本学へご相談ください。

(注)

- ① 出願書類に不備がある場合は受付できません。
- ② 国外から出願する場合は、代わりに緊急連絡先とした方*が出願することもできます。
*緊急連絡先に署名をした方に限ります。知人・友人の代理出願は認められません。
- ③ 台湾、韓国、タイ在住者に限り、台北、ソウル、バンコクの文化学園事務所へ出願することができます。
(連絡先は8ページをご覧ください。)
- ④ 在留資格や在留状況によっては、受付できないことがあります。
- ⑤ 文化学園各校の卒業生および卒業見込み者については、受験料及び入学金が減免されます。
(文化学園各校卒業後、他校に進学した場合も申請可能)
減免制度の利用を希望する場合は、以下の証明書を出願時に提出してください。
出願時に証明書の提出がない場合は、減免対象者であっても、減免制度の利用ができません。

・文化学園大学(旧：文化女子大学) 卒業生・卒業見込み者

減免内容：受験料および入学金を所定の半額とする。

提出書類：文化学園大学(文化女子大学) 卒業証明書もしくは卒業見込証明書

文化学園大学(文化女子大学) 成績証明書

・文化外国語専門学校 卒業(修了)者・卒業(修了)見込み者

減免内容：受験料を所定の半額とする。

入学金を、所定の金額から文化外国語専門学校入学時に支払った入学金の金額を差し引いた額とする。

提出書類：文化外国語専門学校 出席・成績証明書

* 文化服装学院卒業生が再度本学院へ入学する場合の手続きは、本入学試験とは別に定めがあります。

希望者は11月中に問い合わせをし、手続き方法を確認してください。

5 出願書類

- (注) ①提出された書類は返却しません。
 ②追加書類を求められることがあります。
 ③出願書類は黒いボールペンで強く記入し、フリガナはカタカナを用いてください。
 ④消せるボールペンを使用しないでください。
 ⑤書き間違えた箇所は、修正液を使用してください。
 ⑥書類不備があった場合、受付できません。

| 出願書類等 | 摘 要 |
|---------------------------------------|---|
| 1 入学願書 | 本学所定。写真は縦3.5×横3cmの正面上半身無帽の写真を貼付してください。写真の裏に「志望科」と「英字氏名」を記入してください。 |
| 2 緊急連絡先 | 本学所定。学生は緊急連絡先になれません。学業や健康などに問題が起きたときに緊急に連絡します。学校とともによい方向に解決できるよう協力していただける方を選任してください。 |
| 3 経費支弁書 | 本学所定。本学在学中の学費ならびに必要な経費を負担する方を選任してください。 |
| 4 経費支弁能力を証明する書類 | 経費支弁者の収入証明と預金残高証明書を提出してください。原本を提出のこと。英語以外の外国語で作成されている場合は日本語の翻訳をつけてください。翻訳には翻訳者の氏名・連絡先・作成日を記入してください。 |
| 5 住所シール | 本学所定。合否通知および入学手続書類等を受け取るための住所・氏名を記入。引っ越しをする場合には、住所変更をしてください。 |
| 6 *中国人以外の留学生 最終出身校の卒業証明書 と成績証明書 | 証明書は以下の事項が全てあてはまるものを提出してください。 ○原本を提出のこと。 ○証明書原本の提出ができない場合は、証明書や卒業証書等のcertified true copy(原本から正しく複製されたものであることを卒業した学校や公的機関が証明したもの)を提出すること。 ○日本語または英語で発行されたもの。 ○英語以外の外国語で作成されている場合には日本語または英語の翻訳を添付のこと。翻訳には、翻訳者の氏名・連絡先・作成日を記入し、その内容が原本と相違ないことを卒業した学校や大使館等の公的機関から証明を受けること。 ○記載の氏名がパスポートと同一であること。氏名変更した場合はそのことを証明する公的な資料を添付のこと。 ○学校長または機関長の公印または署名、発行日の記載があるもの。 |
| 7 *中国人留学生 学歴認証と成績認証 | ○中国人留学生の方は、CHSI中国高等教育情報網で発行される学歴認証・成績認証(英語)を提出のこと。 ○電子認証の場合、プリントアウトしたものを提出すること。 ○参照 CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構 http://www.chsi.jp ○学歴認証・成績認証の発行には時間がかかるので、早めに準備を開始すること。 |
| 8 日本語学校の成績証明書 | 日本語学校での学習歴がある場合のみ、必ず提出してください。 * 出願する日の1週間以内に発行された証明書を提出してください。 |
| 9 日本語学校の出席証明書 | * 学校教育12年間の課程を修了していない場合は、進学準備教育課程に在籍していることが分かる証明書もあわせて提出してください。 |
| 10 日本語能力を証明する書類 | 取得者のみ、以下の原本を提示してください。 ○日本語能力試験(JLPT) N2もしくは2級以上の合格証 ○日本留学試験日本語科目(EJU) 200点以上の証明書(有効期間2年間) ○BJTビジネス日本語能力テスト400点以上の証明書 |
| 11 日本の学校の在学証明書等 | 日本の小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学等での就学歴がある場合のみ、 原本を提出してください。休学中および退学した学校の証明書も提出してください。 |
| 12 日本の学校の出席・ 成績証明書(小・中学校は不要) | 複数ある場合は全て提出してください。(卒業証明書、在学証明書、休学証明書、退学証明書等) |
| 13 パスポート | 出願時に提示してください。(緊急連絡先とした方が出願する場合は、身分事項、渡航記録などについて全ての写しを提出してください。) |
| 14 在留カード | 出願時に提示してください。(日本国外在住者は提示不要) |
| 15 健康保険証 | |
| 16 入寮申込書 | LIFE STYLE GUIDE 2023添付のもの。 入寮希望者のみ 提出してください。 |

7 奨学金案内

文化服装学院奨学金 (支給/返還の必要なし)

| | |
|---------|---|
| 応募資格 | <ul style="list-style-type: none"> ・心身健康、学業優秀で、明確な目標をもち、十分な意欲があること ・学業が特別優秀と認められること ・申請時本学在学中で、翌年度進級・進学予定であること |
| 支給金額 | 翌年度の年間授業料の半額 (例)服装科2年生の場合：年間授業料半額=33万円 |
| 支給期間 | 1回限り(毎年申請可能) |
| 募集時期 | 11月中旬 |
| 募集人員 | 若干名 |
| 応募方法 | 申請希望者は学生課が配信する要項を確認し、学生課で申請を行う。 |
| 選考方法 | 書類審査 |
| 採用決定 | 2月上旬 |
| 前年度採用実績 | 採用12名/申請者42名(進級者6名・進学者6名) |

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学生 (支給/返還の必要なし)

| | |
|---------|---|
| 応募資格 | <ul style="list-style-type: none"> ・新入学予定者(募集時期に入学手続きが完了していること) ・アジア諸国(英国国籍は除く)から来日している私費留学生 ・人物・学問ともに優秀で、経済的に援助を必要とする者 ・受給始期からの在籍期間が2年以上の者 ・財団の主催する国際交流活動に年1回は参加できる者 ・在留資格「留学」の者 |
| 支給金額 | 月額6万円、もしくは10万円 *奨学財団の審査により金額が決定 |
| 支給期間 | 月額6万円の場合は1年/月額10万円の場合は2年 |
| 募集時期 | 1月 *1月までに文化服装学院への入学が決定している必要があるため、3期の出願者は応募ができません。 |
| 募集人員 | 1名 |
| 応募方法 | 本学外国人留学生入学試験1・2期合格者に対し、文化服装学院学生課より要項を送付。希望者は要項に従い申請を行う。 |
| 選考方法 | 書類選考 |
| 採用決定 | 3月下旬 |
| 前年度採用実績 | 採用1名/申請者5名 |

公益財団法人国際協和奨学会 私費外国人留学生奨学生 (支給/返還の必要なし)

| | |
|---------|---|
| 応募資格 | <ul style="list-style-type: none"> ・学業・人物ともに優秀で、経済的援助を必要とする者 ・日本国内のみならず、外国の政府並びに諸団体からの奨学金を受けていない者 ・国際理解と親善に関心を持ち貢献を期する者 ・在留資格「留学」の者 |
| 支給金額 | 月額12万円 |
| 支給期間 | 最長2年 |
| 募集時期 | 11月 |
| 募集人員 | 1名 |
| 応募方法 | 申請希望者は学生課が配信する要項を確認し、学生課で申請を行う。 |
| 選考方法 | 書類選考、面接 |
| 採用決定 | 3月上旬 |
| 前年度採用実績 | 採用0名 |

独立行政法人日本学生支援機構 文部科学省外国人留学生学習奨励費 (支給/返還の必要なし)

| | |
|---------|---|
| 応募資格 | <ul style="list-style-type: none"> ・学業、人物ともに優れ、経済的理由により修学が困難である者 ・2年生以上 ・在留資格「留学」の者 |
| 支給金額 | 月額48,000円 |
| 支給期間 | 1年間 |
| 募集時期 | 4月 |
| 募集人員 | 独立行政法人日本学生支援機構の定めにより、年度により異なる |
| 応募方法 | 申請希望者は文化服装学院内で行われる奨学金説明会へ参加し、学生課で申請を行う。 |
| 選考方法 | 書類選考 |
| 採用決定 | 6月下旬 |
| 前年度採用実績 | 採用10名 *10月に4月応募の不採用者の中から追加採用を行うことがあります。 *日本留学試験成績上位者を対象に、1年次から奨学金を受給するための予約制度があります。 希望する場合は、文化服装学院入学前に、予約奨学金の申請をした上で日本留学試験を受験してください。 |

10 「専門士」「高度専門士」および就労ビザに関する事項についての注意

「専門士」「高度専門士」は、共通の基準（※1）をもとに文部科学大臣が認定した専門学校・学科の卒業者に付与されます。

「専門士」「高度専門士」は、専門学校の8分野（工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養）のすべての分野で取得できます。称号授与書には修了した課程や学科名が記載されますので、学習した技術、技能、教養の内容を第三者に提示することができます。

※1)

1. 修業年限が「専門士」は2年以上。（「高度専門士」は4年以上）
2. 卒業に必要な総授業時間数が「専門士」は1,700時間以上。（「高度専門士」は3,400時間以上）
3. 試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている。

本学では、上記の条件を満たす学科を卒業した際に専門士称号または高度専門士称号を付与されますが、修業年限が1年間の学科に入学（※2）した場合には、専門士の称号は付与されません。

※2) 服飾研究科へ入学した場合や各課程の専攻科（修業年限1年）に編入学した場合など。

専門士または高度専門士の称号は、日本で働くための在留資格「技術・人文知識・国際業務」へ変更申請をする時に必要な条件の1つです。日本での就労を希望する場合は、専門士称号または高度専門士称号が付与される学科を選択してください。

また、在留資格「技術・人文知識・国際業務」への変更申請の審査では、学習した内容と仕事の内容が一致していることが求められますので、将来希望する仕事の内容に合わせて、学科を選択してください。

なお、専門士称号または高度専門士称号が付与されていない場合も、本国などで「学士」等の学位を取得している場合は、学位の内容に応じた仕事のための在留資格「技術・人文知識・国際業務」へ変更申請をすることができます。

11 お問い合わせ

募集についてのお問合せや出願は、本学の学生課、台北事務所、ソウル事務所、バンコク事務所で行います。

文化服装学院 学務部学生課

〒151-8522

東京都渋谷区代々木3-22-1

TEL +81-(0)3-3299-2216

FAX +81-(0)3-3370-9545

<http://www.bunka-fc.ac.jp>

台北事務所

台湾台北市中正区重慶南路

一段57号4F-9

TEL +886-(0)2-2375-1951

ソウル事務所

204-1 Skhub Bldg.

461, Samil-daero,

Jongno-gu Seoul, Korea 03147

TEL +82-(0)2-561-6708

FAX +82-(0)2-565-0179

Mail : bunka-kr@naver.com

バンコク事務所

90 Ekamai 12, Sukhumvit 63,

Klongton Nua, Wattana,

Bangkok 10110, Thailand

TEL +66-(0)83-163-8555

FAX +66-(0)2-713-1110

LINE : [bunka-thailand](https://line.me/tv/bunka-thailand)

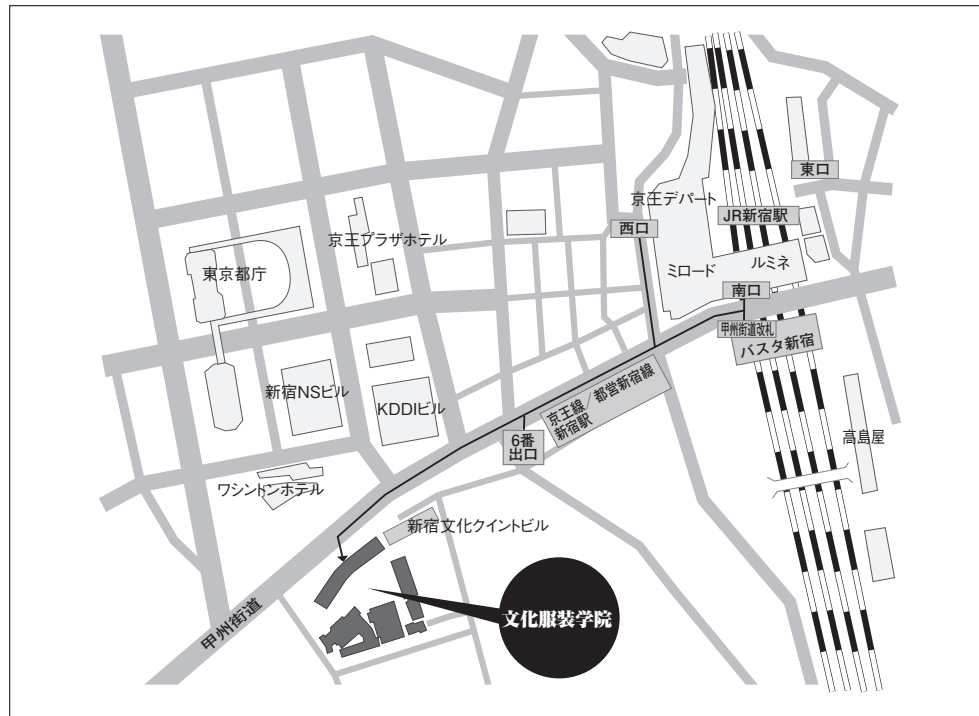
ACCESS

文化服装学院

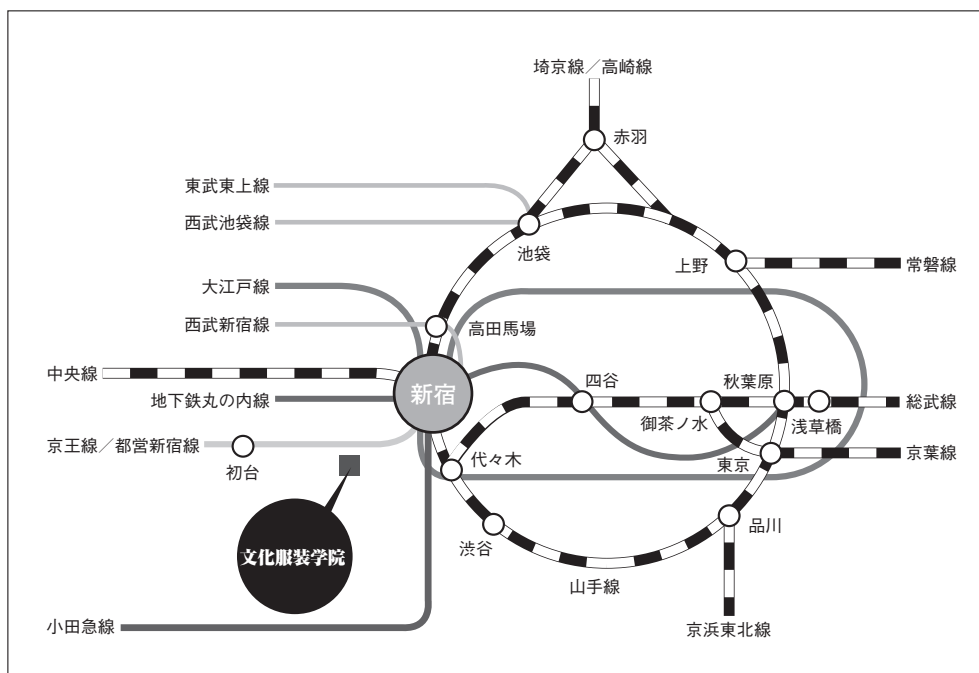
〒151-8522 東京都渋谷区代々木 3-22-1

TEL. 03-3299-2211 (代表) 03-3299-2216 (入学相談)

URL. <http://www.bunka-fc.ac.jp/>



JR「新宿」駅南口、小田急線・京王線「新宿」駅から徒歩 甲州街道を初台方面に7～8分
都営新宿線「新宿」駅から徒歩 3分



The following pages in English do not cover all the necessary information. When applying, please make sure to read all the pages in Japanese.

Qualification for Application

- (1) International applicants must have acquired (or be qualified to acquire) a student visa. An applicant qualified to acquire a student visa must obtain said visa immediately after completing registration.
- (2) Applicants must not be of Japanese citizenship.
- (3) Applicants are required to have completed the 12th year of an accredited school education and/or be qualified to apply for a university by the end of March of the expected year of entrance into Bunka Fashion College. Applicants designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, are also qualified to apply.
- (4) If the applicant has attended a Japanese language school certified by the Ministry of Justice, attendance in said institution should be 80%* or more.
*It is not the number of days, but the number of hours.
*If the applicant attended a Japanese language school with a temporary visitor visa or designated activities visa, the attendance rate cannot be included.
- (5) Applicants must have the ability to understand lectures held in Japanese at Bunka Fashion College. Applicants must fulfill at least one of the following qualifications (①~⑤) by the end of March of the expected year of entrance into Bunka Fashion College:
*If the applicant does not have a student visa, he/she must have fulfilled at least one of the following qualifications (①~⑤) when applying for enrollment.
 - ① Achieve Level 2 (N2) or higher on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) given by Japan Educational Exchange and Services (JEES) and the Japan Foundation.
 - ② Achieve a score 200 or more on the subject "Japanese as a Foreign Language" in the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU) given by the Japan Students Services Organization (JASSO).
*The test must be taken within 2 years of the submission date of the application.
 - ③ Achieve a score 400 or more on the Business Japanese Proficiency Test (BJT) given by The Japan Kanji Aptitude Testing Foundation.
 - ④ Have studied for 6 months or more in a Japanese language institution certified by the Ministry of Justice.
*This does not apply to applicants who have attended a Japanese language school with temporary visitor visa or designated activities visa.
 - ⑤ Have received at least 1 year of education at a school specified by Article 1 of the School Education Law, which includes primary schools, junior/senior high schools, universities and colleges (full time programs and Japanese language programs) in Japan but does not include kindergarten.
- (6) Applicants must have the financial means to live and study in Japan.

Application Schedule

| | Application Documents Submission Period | Exam Date | Results (Shipping Date) | Tuition Payment Deadline |
|------------|---|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| Period I | October 3 (Mon) ~ October 14 (Fri), 2022 | November 12 (Sat), 2022 | November 21 (Mon), 2022 | December 12 (Mon), 2022 |
| Period II | November 14 (Mon) ~ November 25 (Fri), 2022 | December 3 (Sat), 2022 | December 12 (Mon), 2022 | January 13 (Fri), 2023 |
| Period III | January 10 (Thu) ~ January 17 (Thu), 2023 | January 28 (Sat), 2023 | February 6 (Mon), 2023 | February 24 (Fri), 2023 |

- * Applicants who enrolled in a Japanese language school during the October semester of the year of application cannot apply during Application Period I due to the inability to calculate the attendance rate.
- * Applicants who apply during Application Period III must have a STUDENT VISA at the point of submission of application. Applicants who have a visa other than a student visa must contact the Student Affairs Department by the first week of October.

Application Documents

All required application documents are listed on page 4. As noted in the section (5), "Qualification for Application", we require applicants to have a certain level of Japanese skills. Because we do not provide the list of application documents in English, we request applicants to make sure to read all the Japanese pages including page 4 in this application guide before applying.

Application Procedure

(1) The application documents must be submitted all together during the designated period. Applicants must directly submit said documents to our staff in the Student Affairs Department at Bunka Fashion College in Tokyo, Japan. Applications will not be accepted after the closing date. All documents required must be submitted in full, and incomplete submissions will not be accepted for any reason.

*The guarantor (=the person named as your emergency contact) may submit the application on behalf of the applicant, if the applicant is not in Japan at that time.

*Applicants in Taiwan, South Korea, and Thailand may submit their application to the offices in their respective countries (in Taipei, Seoul, and Bangkok). Please see the back of the guide for contact information.

(2) Applicants must take the entrance examination on the designated date. The exam will test your Japanese skills. The questions are all in Japanese and must be answered in Japanese. It consists of a paper exam which includes a 400-character written essay (70 mins), listening (20 mins), and a group interview. The level of the exam is equivalent to N2 of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT).

(3) When the applicant is approved to enroll, he/she must pay all fees to Bunka Fashion College's bank account by the designated deadline. (See the table of tuition and other costs.) The Confirmation of Enrollment will be issued after we confirm receipt of all funds.

* The wire transfer must be made in Japanese yen.

* Do not send cash by mail to our office. It will not be accepted.

* If the payment is not submitted by the deadline, it will be considered as a cancellation of enrollment.

- (4) Received fees will not be refunded, except for the possibility of the following cases.
- If the applicant cannot successfully get the required visa, the fees will be fully refunded. (Supporting document required.)
 - If the applicant completes cancellation of enrollment before the day of entrance ceremony, the fees will be refunded, except for the entrance fee.

School Expenses

| Course | Entrance Fee | Tuition for 1 st Semester | Facilities Fee | Training Fee | Teaching Materials Fee | Student's Association Fee | Emergency Supplies Fee | Total Amount of Payment before Entrance | Tuition for 2 nd Semester | Total (First Year) |
|--|--------------|--------------------------------------|----------------|--------------|------------------------|---------------------------|------------------------|---|--------------------------------------|--------------------|
| Garment Creation | 260,000 | 325,000 | 220,000 | 90,000 | 40,000 | 4,500 | 5,500 | 945,000 | 325,000 | 1,270,000 |
| Intensive Garment Creation | 260,000 | 325,000 | 220,000 | 90,000 | 45,000 | 4,500 | 5,500 | 950,000 | 325,000 | 1,275,000 |
| Creative Design (Advanced Diploma) | 300,000 | 352,500 | 220,000 | 90,000 | 40,000 | 4,500 | 5,500 | 1,012,500 | 352,500 | 1,365,000 |
| Foundations of Fashion Technology | 300,000 | 340,000 | 220,000 | 90,000 | 50,000 | 4,500 | 5,500 | 1,010,000 | 340,000 | 1,350,000 |
| Global Fashion Business (Advanced Diploma) | 300,000 | 360,000 | 220,000 | 190,000 | 40,000 | 4,500 | 5,500 | 1,120,000 | 360,000 | 1,480,000 |
| Foundations of Styling and Distribution | 260,000 | 337,500 | 220,000 | 90,000 | 40,000 | 4,500 | 5,500 | 957,500 | 337,500 | 1,295,000 |
| Fashion Textiles | 300,000 | 340,000 | 220,000 | 90,000 | 40,000 | 4,500 | 5,500 | 1,000,000 | 340,000 | 1,340,000 |
| Millinery Design | 260,000 | 325,000 | 220,000 | 90,000 | 50,000 | 4,500 | 5,500 | 955,000 | 325,000 | 1,280,000 |
| Jewelry Design | 260,000 | 325,000 | 220,000 | 90,000 | 60,000 | 4,500 | 5,500 | 965,000 | 325,000 | 1,290,000 |
| Bag Design | 260,000 | 325,000 | 220,000 | 90,000 | 50,000 | 4,500 | 5,500 | 955,000 | 325,000 | 1,280,000 |
| Footwear Design | 260,000 | 325,000 | 220,000 | 90,000 | 60,000 | 4,500 | 5,500 | 965,000 | 325,000 | 1,290,000 |

* Make sure to read all the instructions listed on page 5 in Japanese.

(Currency = JPY)

* Bunka Fashion College does not offer any reduction of tuition for international students. However, there is a scholarship awarded to one new international student each year. We do not accept applicants who are dependent on scholarships at the point of application.

Caution and Further Information

- (1) School term for all students begins in April.
- (2) All courses have a capacity limitation.
- (3) Please note before submitting your application that your financial status or that of the person who is financially supporting you has prepared the amount which is required to cover not only the course tuition fees but also the living expenses required for the duration of the course you wish to enroll in. We ask that you consider the cost of living in Tokyo when you make your budget. Under the Japanese Immigration Law, it is possible to receive special permission as a student to have a part-time job. However, please do not expect to rely fully on part-time jobs to support you during your stay in Japan.
- (4) In regard to preparation of Student Visa and passport, students themselves, or with help from their Guarantor in Japan, are responsible for the application and all processes involved. The college's administrators can only assist in issuing the Admission Certificate to Bunka Fashion College and Student ID Card.

(5) For those students who may not yet have the Japanese language ability required to be directly admitted into Bunka Fashion College, though wish to study Japanese language in Japan, we would like to highly recommend Bunka Institute of Languages. This Japanese language institute is situated under the Bunka Gakuen Education Foundation and is located on the same campus as Bunka Fashion College. This language institute is one of the most reliable and well-structured Japanese language schools for foreigners. For further information, please contact us (see information below).

BUNKA INSTITUTE OF LANGUAGE

3-22-1, Yoyogi, Shibuya-ku,

Tokyo, Japan 151-8521

Tel 03(3299)2011

www.bunka-bi.ac.jp/en/

Student Affairs Department

Bunka Fashion College

3-22-1, Yoyogi, Shibuya-ku,

Tokyo, Japan 151-8522

Tel (+81)3-3299-2216 Fax (+81)3-3370-9545

<http://www.bunka-fc.ac.jp>

■ Taipei Office

4F-9, No.57, Sec.1, Chongcing S Rd.,

Zhongzheng Dist.,Taipei city 10045,Taiwan

Tel (+886)2-2375-1951

■ Seoul Office

204-1 Skhub Bldg. 461, Samil-daero,

Jongno-gu Seoul, Korea 03147

Tel (+82)2-561-6708 Fax (+82)2-565-0179

Mail : bunka-kr@naver.com

■ Bangkok Office

90 Ekamai 12, Sukhumvit 63,

Klongton Nua, Wattana,

Bangkok 10110, Thailand

Tel (+66)83-163-8555 Fax (+66)2-713-1110